



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー第 2620 地区 甲府北 ロータリークラブ

2023-2024 年度 2634 回例会 2 月 7 日

地区ガバナー 中村 皇積 クラブ会長 志村 浩男

本日のプログラム

●「地球歌」プロジェクトについてのグループディスカッション

●会長の時間 志村 浩男 会長

さて本日は皆さんに古屋さんの娘さん美緒さんが提唱する地球歌についてご意見を伺おうと思います。2月21日美緒さんの卓話を予定していますがその際若干の意見交換ができればと思います。15歳の少女が地球平和をストレートに思う気持ちに我々も学びたいと思うのです。

戦争の原因は様々ですがミサイルや戦車を作るお金がなければ今のような戦争にはなりません。せいぜい石を投げあう紛争止まりではないでしょうか。逆に考えれば軍需産業をはじめとする経済の仕組み、アメリカFRBが石油取引をベースとするお金、世界通貨ともいえるドルによって引き起こされていると言えるのではないのでしょうか。無尽蔵にアメリカ国債が発行され戦争に費やされます。そして発行された国債を大量に購入しその利子で莫大な利益を得る仕組みが戦争を支えているとも言えます。戦争は経済問題なのです。世界平和を標榜するロータリーとしては如何にこのテーマを掘り下げられるかにかかると思うのです。以下に私が考える論点を述べますのでそれぞれのテーブルでグループディスカッションしてください。論点はあくまでディスカッションのきっかけ作りですので様々な方向へ議論が広がっても構いません。



論点① オリンピックで歌われるのが目標との発想だがオリンピックの理念と現実になじむかどうか？

論点② 地球平和を願う気持ちは個人の立場であれば80億人ともに共有できるが歌にすると共有できなくなるのでは？レノンのイマジンをオリンピックの場で歌うと政治的な色を帯び共有出来なくなるように。

論点③ 地球歌のコンセプトをロータリーのプラットフォームで進展させる可能性はあり得るか？それでは皆さん宜しくお願いします。

●幹事報告

- 1、ロータリーリーダーシップ研究会 (RLI) パート I・パート II がオンラインにて開催されます。パート I 3月17日(日)・パート II 4月21日(日)です。まだ受講されていない方はこの機会にぜひご参加をお願いいたします。
- 2、今月も令和6年度能登地震の義援金を受け付けます。ご協力をお願いいたします。

●ガバナー補佐訪問例会 国際ロータリー第 2620 地区
2023-24 年度山梨第 2 グループガバナー補佐 溝口 秀男 様

子どもは社会の未来～現代社会の子ども家庭をめぐる問題



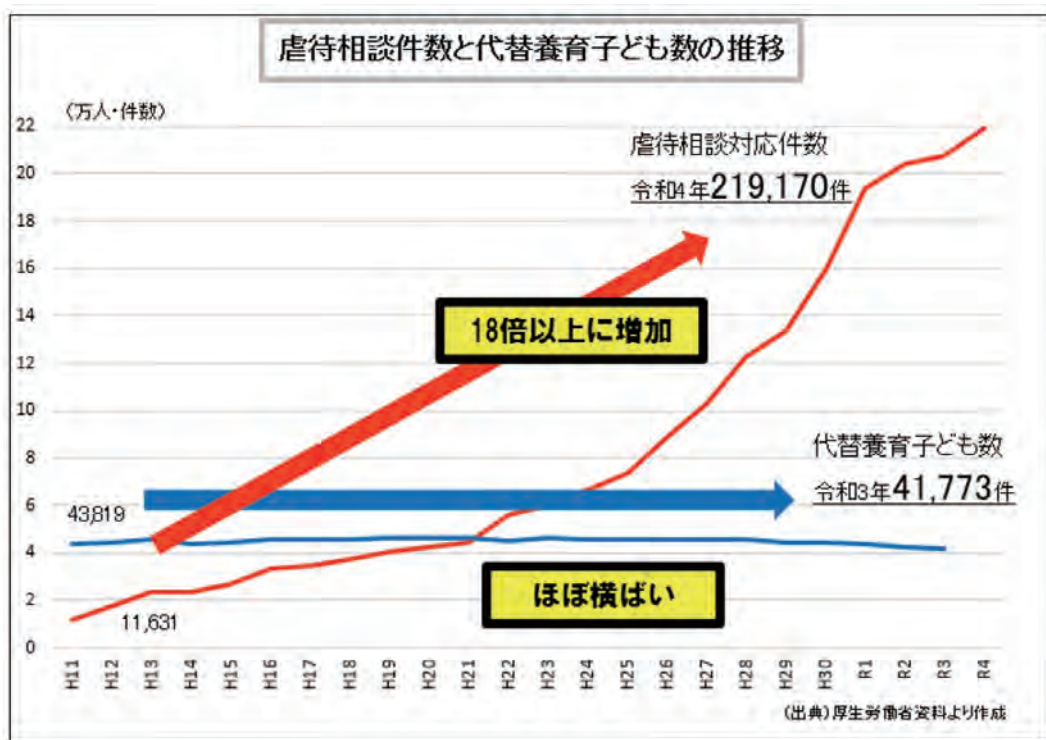
今日、小中学校現場で繰り返し起こっている、いじめ、自殺、不登校などの事象も、家庭にあって日々家族とともに暮らしている子どもであり、当然、家庭（家族）と無関係な問題ではありません。

また、時折マスメディアに大きく取り上げられる青少年による凶悪事件にしても、家庭における養育過程での親子間の悲惨な葛藤が要因となっていることが殆どです。

こうした事象の根源的背景といっても過言ではない

家庭内子ども虐待や DV など児童相談所、市町村、警察などへの虐待通告相談件数は、経年的に増加の一途にあります。その数は別表グラフのように、昨年（2023 年）は 219,170 件に至っています。しかし、この数字にしても、欧米各国の状況と比較してまだ氷山の一角という現状であり、高齢化、少子化の進行する我が国の未来にとって極めて深刻な問題です。

加えて、グラフに示されているように、施設や里親に保護される子どもは、児童虐待防止法が制定された 2000 年当初から 4 万 5 千人程と定数処理が続いており、虐待通告された子どものうちのほとんどは見守りと称して家庭に置いたままであり、里親・施設等に分離保護されるのは結局 2% 程というのが現状なのです。すなわち、虐待など不適切な養育を受けるもそのほとんどの子どもは支援を受けることなく家庭で育ち、地域の保育園、幼稚園、小中学校へ所属するのはいうまでもありません。本講演では、戦後から今日に亘る我が国の社会構造の流れと、家庭機能の変化、あるべき子ども家庭福祉のパラダイム転換の必要性に触れ、その理解と関心を深めていただきたい。



◇山梨第2グループガバナー補佐 溝口秀男 補佐事務局 内藤英久

昨年中は皆様ありがとうございました。本日は宜しくお願ひ致します。

◎加々美よしこ 寒い日が続いています。皆様お体お大事になさって下さい。

赤 岡 溝口ガバナー補佐をお迎えして。ようこそいらっしゃいました。今夜は宜敷くお願ひします。

小 澤 溝口ガバナー補佐本日は御指導よろしくお願ひ致します。内藤事務局ようこそ。

河 野 溝口ガバナー補佐ようこそ

小 林 溝口ガバナー補佐、事務局内藤様、今日はよろしくお願ひいたします。あと半分、ご指導ください。

近 藤 溝口ガバナー補佐、内藤様ありがとうございます。寒い日が続きますが、皆様お体お気を付けてください。

志 村 溝口様、内藤様おいで頂きありがとうございます。ロシアプロジェクトも動き出しそうです。御協力お願ひ致します。

中 尾 溝口ガバナー補佐、内藤ガバナー補佐事務局、ようこそおいで下さいました。本日はよろしくお願ひいたします。

廣 瀬 溝口G補佐、ようこそ。お話を楽しみにしています。

古屋里 溝口ガバナー補佐、内藤事務局様ご苦労さまです。

堀 内 溝口ガバナー補佐、内藤様、本日はよろしくお願ひいたします。

●2631 回例会 (1/8)

○第13回「お正月を遊ぼう」協賛

甲府駅北口まちづくり委員会と甲府北ロータリークラブの関係について。



解かりやすくするために以前の北口駅前周辺を振り返って見ますと、駅入口階段の周辺は、大きな櫻の木とヒマラヤスギの大木が数十本ありました。

その中心部分に北ロータリーが寄贈した大型の時計塔がありました。

道路を挟んで北側は、県の建物と桜シルク製糸工場がありました。その後県の建物は撤去されて県職員の駐車場が作られました。甲府駅南口と比較すると、全てが遅れていて暗いイメージの北口に周辺の住民は何とかしたいと言う想いの中、県知事選挙があり北口県所有土地の有効活用を提案する候補者に期待しましたが、僅差で敗れて希望が断たれました。

北口一帯の整備事業推進には行政をはじめ識者の意見もあり、中々まとまりませんでしたでしたが、最終的に図書館と、NHK 甲府局が来ることで落ち着いた訳です。

その後甲府市が寿町の区画整理事業終了に伴い、続いて北口駅前周辺の新都市拠点整備事業（土地区画整理事業）に着手しました。

しかし、中々事業がスムーズに進まず中だるみの状況になりました。これでは困るという事で（赤岡代表）は、事業進展を強調するイベントを何回も実施して事業推進のムードを盛り上げ、甲府市に対しても作業が早く進むようお願いもしながら事業の進行を促しました。

この事業を進める中、東京ガス様の所長様方には積極的にご協力をいただき感謝に堪えません。

拠点整備事業が始まった頃、当北クラブは、創立 40 周年の節目迎えておりました。整備事業の中で、当北クラブに関係の撤去品は、古い時計塔と駅階段入口に置いて花を植えていた大きな鉢（近くのクラブの会員の奥様に水やりをお願いしていた）でしたが、このまま放置すると工事会社がかたずけてしまい当クラブとの関係が無くなりますので、市長に申し込みをして、整備事業完成時の寄付物件として認可を頂きました。又当クラブとしては、40 周年記念実行委員会に計り記念事業の一つとして、新しい時計塔を北口駅バス停・タクシープール真ん中に設置しております。

新都市拠点整備事業が完成し新たな都市環境が実現しました。これらを活用し魅力ある場所と地域作りが必要であることを考え、赤岡代表をはじめ地元北口周辺住民有志による任意団体「甲府駅北口まちづくり推進委員会」を設立、更に甲府市が打ち出してい居る指定管理者の認定も受けるべく管理者公募に応募し、平成 22 年 12 月に指定決定されるとともに 23 年 4 月より指定管理による業務が始まりました。

又、それと同時に、組織が任意団体のままでは良くないので法人化と健全な運営を考えて、利益の配分ができない NPO 組織とし、「特定非営利活動法人甲府駅北口まちづくり委員会」として 5 月 31 日法人認定申請を済ませています。

法人設立時北ロータリー関係者（理事、監事）は赤岡、古屋、小沢、田嶋でした。その他理事数名。

組織の立ち上がりについては以上私の記憶に基づいて記しましたが、活動について「お正月を遊ぼう」（共催）は 2012 年 1 月開催、今年で 13 回まで来ています。

又、2013 年 3 月北ロータリー、北口まちづくり委員会共催、市内 8RC 参加で開催したフォーラム「観光立国フォーラム IN 甲府」は、東京に本部が有る NPO 法人ジャパンナウ観光情報協会副理事長の須田寛氏（JR 東海元社長）の講演でしたが、鈴木会員、広瀬会員など全員参加で実施されたものです

●他クラブの例会変更

甲府 RC	2 月 19 日（月）	休会（祝日が含まれる週のため）
甲府シティ RC	2 月 14 日（水）	休会（祝日が含まれる週のため）
	2 月 28 日（水）	休会（クラブ定款により）
甲府南 RC	2 月 13 日（火）	休会（祝日が含まれる週のため）